

令和7年南伊豆町議会6月定例会の開会にあたり今後の町政運営に対する所信の一端を述べさせていただくとともに3月定例会以降の主な事項について行政報告を申し上げます。

この度の町長選挙においては、多くの町民の皆さまからのご支持のもと3期目の町政を担当させていただくこととなりました。

ご支援を賜りました皆さまに衷心より感謝申し上げますとともに引き続き町政運営を担う責任の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

私の町政運営に対する基本方針については、本年3月定例会での施政方針でも申し述べさせていただいたとおりであります。引き続き、町づくりの指針となる第6次南伊豆町総合計画に基づく主要施策を着実に遂行するとともに、町民ファーストの町政運営と誠実かつ謙虚な政治姿勢をもって皆さまの負託にお応えすることを第一とし、山積する行政課題から目を背けることなく政策の選択と集中をもって限られた財源を有効に活用しながら安定的な行政サービスの提供に努めてまいります。

加えて、町民ファーストのまちづくり第3章となる今後の4年間に向けては、「次代を担うこどもたちが元気なまち、安心して暮らせ

る元気なまち、町内 34 区が元気なまち、産業・地域経済が元気なまち、様々な分野の町民が元気なまち」の実現を目指しつつ、本町で生まれ育つ子どもたちのために、そして全ての世代が安心して住み続けることができる持続可能な地域として南伊豆町を未来に繋げるためにも、掲げた政策を確実に前へ進めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆さま並びに本議会からのさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ再選にあたってのご挨拶及び所信表明とさせていただきます。

続きまして、本年 3 月定例会以降の主な事項について行政報告を申し上げます。

1 協定書の締結

令和 7 年 3 月 3 日、株式会社アクティオと「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を締結いたしました。

本協定の締結により災害が発生又は発生の怖れがある場合において、同社が所有する仮設トイレ・発電機のほか各種レンタル機材を優先的に提供していただける体制が整いました。

今後も発災時における復旧・復興の円滑化を図るとともに迅速な

被災者支援活動を展開するため、平時から相互の連絡体制の強化や保有資機材の供給状況について緊密な情報交換に努めてまいります。

2 地方公共団体システム標準化及び自治体DXの進捗

これまでの地方公共団体における基幹電算業務システムの運用方法については、システムベンダーが個別に開発したものを自治体ごとにカスタマイズして利用することが通例でありました。

このようななか、住民の利便性向上や、行政運営の効率化によるコスト削減の観点などから国が定めた統一の仕様に基つきシステムを標準化する取り組みが全国的に進められてきております。

本町においては、標準化対象 20 業務のうち導入を予定する住民記録や、税務情報などの主要 17 業務について順調に移行作業が進められており、本年 9 月 29 日からは、ガバメントクラウド上で稼働するひょうじゆんじゆんきよ標準準拠システムによる運用を開始する予定であります。

また、標準準拠システムを稼働させるプラットフォームのガバメントクラウドは、AWS（アマゾン・ウェブ・サービス）とし、移行に伴うトラブルを最小限とすべくシステムベンダーや通信事業者などと慎重なる調整を図りながら環境構築を進めております。

なお、DX（デジタル・トランスフォーメーション）においては

本年2月1日からLINE公式アカウントを開設し情報発信や町有施設の予約及び施設出入口のスマートロック化、がん検診予約にも活用するなどデジタル技術による利便性の向上に努めております。

加えて、町民課窓口ではマイナンバーカードや自動車運転免許証の読み取りシステムを導入し、各種申請書に住所・氏名が自動記載される「書かない窓口」の運用も開始いたしました。

今後も更なる利便性の向上や業務の円滑化に向けたDXの推進に取り組んでまいります。

3 可燃ごみ処理の現況と今後の方向性

南伊豆地域清掃施設組合において検討を進めております広域ごみ処理事業の進展を見据えたなかで、本町清掃センターでは施設延命のために必要な定期修繕を控えていたところ、本年1月に炉内破損による故障が発生し4か月にわたる稼働停止となっております。

これを受けて可燃ごみ処理に関する協定を締結しているオリックス資源循環株式会社をはじめ、1月から3月までは下田市並びに松崎町にその一部の処理をお願いし、4月からは東河環境センターの協力を仰ぎながら町内可燃ごみの全量外部搬出による処理を実施しております。

現在稼働停止中の同施設については再稼働に向けた修繕は行わず本年 10 月以降は可燃ごみ処理会社による全量外部搬出を予定しておりますので、一般家庭から排出されるごみの収集業務においては従前どおりで何ら支障はありませんのでご安心ください。

一方、南伊豆地域清掃施設組合で協議中の広域ごみ処理事業施設の整備及び運営等については、関連する事業費の高騰から下田市の運営費負担が増加したとの理由で令和 6 年 12 月 3 日に負担割合等の再検討を求める協議依頼が下田市から組合に提出されるなど現在も事業が停止している状況にあります。

このため同組合では事業費削減に向けた検討が行われ、令和 7 年 5 月 1 日の同組合運営会議において事業費の修正案が提出されたものの効果的な事業費削減は見込めないものとなりました。

本町においては、本年 10 月から実施する全量外部搬出費用が確定しており、これら基礎数値に基づき将来人口推計によるごみ量の減少などを見込んだ処理費用予測と、組合が提示する本町分の財政負担にかかる修正予測値とを比較した場合、全量外部搬出を選択すれば 40 年間で約 20 億円の負担軽減が見込まれるとの推計結果が示されました。

また、現時点で各市町の既存焼却施設解体費にかかる負担根拠も

不明確であり、広域ごみ処理施設建設予定地の土地取得等に関する下田市の対応や土壌汚染対策にかかる不透明さなど未解決な課題が山積している状況から、本町といたしましては単独での事業運営に舵を切ることを決定し昨日の運営会議において構成市町の首長にその旨を伝えてまいりました。

今回の決断が町民の皆様へのサービス低下に繋がることの無いよう持続可能な清掃事業の最適化に努め、更なる生活環境保全の強化に邁進してまいりますので本議会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4 商工観光振興の取り組み

(1) 第27回みなみの桜と菜の花まつり

本年の桜の開花状況は年末・年始以降での雨不足や2月初旬の寒波到来などから例年に比べ2週間程度遅れたため、まつり期間中の来訪者減が危惧されたところでありましたが昨年の25万5,000人を若干上回る25万7,000人のお客様にご来訪いただきコロナ禍以降においては連続して入り込み客数の増加を見たところであります。

これら要因としては、夜桜ライトアップや竹灯り、桜トンネルのイルミネーションなどで道の駅を中心に夜桜見物のお客様が増加し

たことに加え、伊豆縦貫道河津下田道路の部分開通やまつり期間を通して天候に恵まれたことによるものと分析しております。

一方で桜より一足早く2月初旬には見頃を迎えた日野の菜の花畑では、最終日に至るまで菜の花ドアや菜の花迷路を配した一面の黄色い絨毯を目当てに沢山のお客様で賑わいました。

本事業の運営においては商工会青年部を始めとする数多くのボランティアの皆さまに支えられており、これらのご支援無しでは成立しないものであると強く認識するところでありますので、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和7年度は「町制施行70周年」の節目の年となることから新たな企画なども交え前回以上の誘客を目指し盤石な体制で臨んでまいりますので更なるご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(2) ふるさと寄附

令和6年度の寄附金総額では2億5,754万7,500円となり、金額ベースでは前年度実績を0.4%上回る一方で寄附件数では4,876件減少しました。

これら要因としては、主力返礼品でもあるイチゴ生産者が減少し

たほか、海産物の不漁などによる受注件数の伸び悩みなどが顕著に見られましたが、宿泊券を始めとする寄附単価の高い返礼品や海産物加工品などの新規返礼品が寄附金額の増加に繋がったもので、町内事業者の前向きな取り組みの成果であると捉えております。

今後も寄附額拡大に向けて魅力ある返礼品の創出、ソーシャルメディアの活用、各種誘客キャンペーン等を介した実効性の高い広報活動の推進に努めてまいります。

(3) 第8弾みなみいず応援プレミアム付商品券

物価高騰を受けて低迷する地域経済の活性化を目途に第8弾みなみいず応援プレミアム付商品券事業を実施いたしました。

本年2月から南伊豆町商工会が商品券販売を開始し、4月末の販売締切りまでに15,934セットを販売いたしました。

使用期限は本年7月31日までとなっておりますので、町民の皆様には本事業の趣旨をご理解いただき、余すことなくご利用いただきますようお願い申し上げます。

以上で、令和7年6月定例会の行政報告を終わります。